

ラジオメーターからの新しい提案

○岡 尚人 (ラジオメーター株式会社)

【はじめに】

Radiometer Medical 社は、50 年にわたり臨床現場に対して血液ガス分析を中心としてソリューションを提供してきた。このソリューションは、検査室に留まらず救命救急、集中治療といった POCT (Point of care testing : 臨床現場即時検査) の提案であった。Radiometer Medical 社の次のステップである、診療所、在宅医療、災害時医療への戦略製品を紹介する。

【HemoCue 社】

Radiometer Medical 社は2013年にスウェーデンに本社を置く HemoCue 社を買収し配下に収める事により、バッテリー・乾電池稼働で持ち運び可能な、ヘモグロビン測定装置、白血球測定装置、血糖測定装置等の様々な製品がラインナップに加わった。

【HemoCue Hb201+について】

最新のキュベットテクノロジーにより約 $10\mu\text{L}$ の血液 (毛細管血) から1分未満で正確なヘモグロビン測定値を提供可能な装置である。指先の穿刺血 (毛細管血) から測定可能であり、世界では血液事業の献血時スクリーニング、住民健診、在宅医療等で幅広く使用されており、POCT 関連機器におけるヘモグロビン測定のスタンダード装置である。

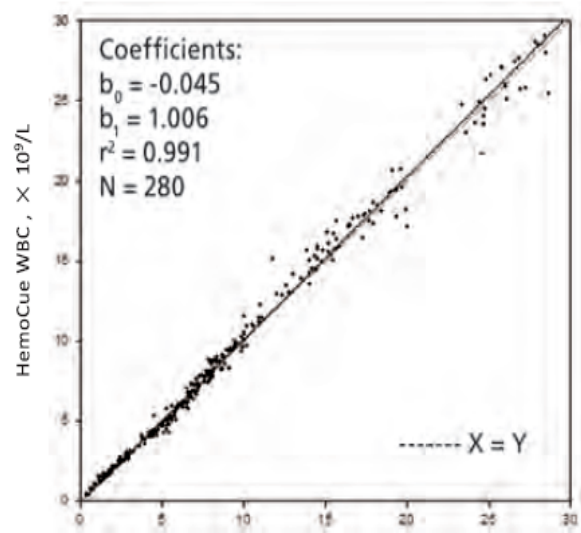
【HemoCue WBC (図1) について】

ヘモグロビン同様に毛細管血を約 $10\mu\text{L}$ キュベットに取り、キュベット内のメチレンブルーにて染色され白血球を装置内の画像認識機能により白血球数を導き出すユニークな分析装置である。ヘモグロビンで培ったキュベットテクノロジーの応用により実現した。染色の際赤血球は溶血し測定するため、血液中の白血球を正確にカウントするため、自動血液分析装置との相関も良好である (図2)。本装置は小型な上、単三乾電池6本で稼働するため院外に持ち出し運用する事が容易である。

図1 : HemoCue WBC



図2 : 自動血球分析装置との相関



自動血球分析装置, 平均値 $\times 10^9/\text{L}$